

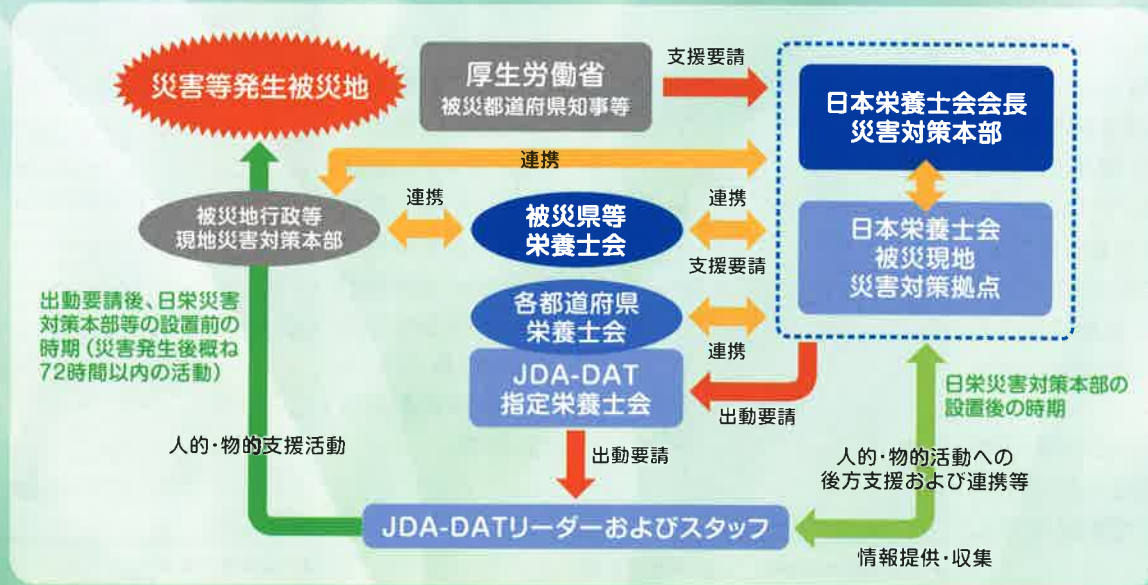
日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT) の育成を始めました。

日本栄養士会では、東日本大震災における管理栄養士・栄養士の被災地支援・復興活動の経験を踏まえ、日本栄養士会災害支援チーム (Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team: JDA-DAT) を設立しました。

日本国内外で大規模な地震、台風等の自然災害が発生した場合に、迅速に被災地内の医療・福祉・行政栄養部門等と協力して緊急栄養補給物資等の支援を担う、専門的知識と技術

を持った管理栄養士の育成を進めています。

平成24年2月に第1回を、11月には第2回リーダー育成研修を実施して、170人のJDA-DATリーダーを認定しました。10年間で、1,000人のJDA-DATリーダーの育成を目指しています。さらに、このリーダーを中心として、都道府県栄養士会においてJDA-DATスタッフの育成が始まりました。



ホームページに詳しい情報が載っています。

日本栄養士会 検索

<http://www.dietitian.or.jp>

新たな出発に向け、あなたの入会をお待ちしています。

入会のお問合せは都道府県栄養士会へ

北海道 011-251-7071	東京 03-6457-8590	滋賀 077-581-1366	香川 087-811-2858
青森 017-735-7003	神奈川 045-664-6722	京都 075-642-7568	愛媛 089-946-0734
岩手 019-625-3706	新潟 025-224-5966	大阪 06-6943-7970	高知 088-872-9411
宮城 022-265-8007	富山 076-442-6057	兵庫 078-251-5311	福岡 092-631-1160
秋田 018-831-0158	石川 076-262-2383	奈良 0744-33-2166	佐賀 0952-26-2218
山形 023-633-4727	福井 0776-27-5999	和歌山 073-426-4616	長崎 095-822-0932
福島 024-939-1195	山梨 055-222-8593	鳥取 0858-23-8140	熊本 096-368-3526
茨城 029-228-1089	長野 026-235-2308	島根 0852-27-6674	大分 097-556-8810
栃木 028-634-3438	岐阜 058-278-5230	岡山 086-273-6610	宮崎 0985-22-6105
群馬 027-232-2913	静岡 054-282-5507	広島 082-261-0885	鹿児島 099-256-1216
埼玉 048-866-7925	愛知 052-332-1113	山口 083-932-8015	沖縄 098-942-5311
千葉 043-256-1117	三重 059-224-4519	徳島 088-626-0166	

管理栄養士・栄養士になるあなたへ

日本栄養士会に入会して、一緒に活動していきましょう。

管理栄養士・栄養士の使命は、専門職業人としての倫理と科学的かつ高度な技術に裏づけられた食と栄養の指導を通して、公衆衛生の向上に寄与することと考えています。管理栄養士・栄養士は、すべての人々が健やかに、よりよく生きるために、保健・医療・福祉および教育の分野で活動しています。

働く環境を整えます。

社会とともに活動します。

必要な情報が入手できます。

日本栄養士会は、管理栄養士・栄養士として活動する皆さんを多面的にサポートします。

スキルアップを応援します。

仲間づくりの場を提供します。



東日本大震災の支援を継続的に行っています。

公益社団法人 日本栄養士会

TEL/03-3295-5151 FAX/03-3295-5165

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目39番地 日本健康・栄養会館内

The Japan Dietetic Association
JDA
公益社団法人 日本栄養士会

日本栄養士会の活動 Q & A

専門職は職能団体に所属し、常に資質の向上に努め、社会の使命に応えることが求められます。

Q 日本栄養士会は、管理栄養士・栄養士のために、どんな活動をしていますか？



▲病院での栄養指導

A 働く人員の配置増や環境づくり、仲間づくりを応援します。

さまざまな職場で働く管理栄養士・栄養士の配置人員を増やしたり、働きやすい環境を整えるための活動をしています。また、管理栄養士・栄養士は、1施設に1人という場合が少なくなく、悩みごとを相談したり、アドバイスを受けたりする場や

機会が必要です。日本栄養士会の会員になることで、あなたと同じ職域、地域の先輩・後輩との交流の場がたくさんできます。日本栄養士会、都道府県栄養士会は、こうした仲間との交流の“場づくり”をサポートします。

損害賠償責任保険制度
補償額は1事故1億円、希望者には3億円まで追加補償

現代では、種々の専門職に対する過失責任が問われています。管理栄養士・栄養士の日々の業務にも、重い責任が伴います。万が一に備えて、「損害賠償責任保険制度」で会員を守ります。

Q 日本栄養士会は、社会とどのようなかわりをもって活動していますか？



▲健康増進キャンペーン

A 地域で暮らす人々の健康を守るために、積極的に活動を展開しています。

日本栄養士会は、常に時代の動向を把握し、社会のニーズに対応して、国民の健康づくり、糖尿病などの生活習慣病予防、低栄養の改善、疾病の重症化防止などに、積極的に取り組んでいます。

栄養ケア・ステーションの活動

全国の管理栄養士・栄養士が、地域や医療機関等に対して栄養支援を行う拠点として、栄養ケア・ステーションを全国に設置しています。特定健診・特定保健指導への対応等は、栄養ケア・ステーションが中心となって進めています。

キャンペーン活動の実施

国民が健康で生き生きと過ごすための健康づくり運動「健康日本21」の目標達成のために、野菜の摂取量の増加に焦点を絞り、「野菜を食べようーメタボ撲滅ー」キャンペーン活動を展開しています。

食育の推進

生涯を通じた健康で豊かな生活の基本となる「食生活を営む力」を育てるために、「太るもやせるも食事が基本」や食事バランスガイドの普及など、さまざまな活動を展開しています。

災害時における支援活動

災害発生地域において、避難所、施設、自宅、仮設住宅などで、栄養に関する支援活動を行うこととしています。そのために、日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)を全国に設置する計画を進めています。

国際交流活動

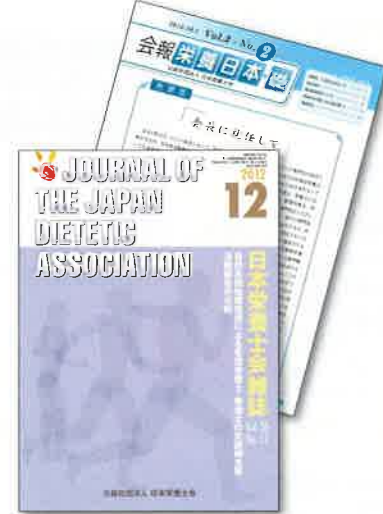
国際栄養士連盟・アジア栄養士連盟の加盟国としての活動等、国際交流を推進しています。開発途上国への支援活動として、栄養士制度の立ち上げの支援や留学生の受け入れなどを行っています。2014年には第6回アジア栄養士会議が台湾の台北で、2016年には第17回国際栄養士会議がスペインのグラナダで開催されます。



Q 管理栄養士・栄養士として必要な情報は、どのようにして入手できますか？

A 会員の皆さまと日本栄養士会が一体となる情報をきめ細かく発信します。

毎月1日に発行している「日本栄養士会雑誌」は、約54,000人の栄養士会の会員を結ぶ情報誌です。管理栄養士・栄養士の資質向上も、会員と会が一体となってはじめて達成されるものです。“栄養士”として知っておくべき情報、統計資料、各種講習会の開催案内など、大切な情報をお届けしています。その他に、会員向けの会報「栄養日本・礎」を3か月に1回程度発行し、「日本栄養士会雑誌」と共にお送りします。



▲「日本栄養士会雑誌」/会報「栄養日本・礎」

ホームページでは、「あなたの食育、みんなの食育」「ヘルシー・クッキング」「栄養相談Q&A」「日本栄養士会からのお知らせ」「会員専用ページ」「研修会のご案内」等、タイムリーに情報をお届けします。



▲日本栄養士会ホームページ

Q スキルアップのためのバックアップはありますか？

A 仕事の内容にあったさまざまな研修の機会を提供しています。

プロの管理栄養士・栄養士であり続けるために、生涯にわたっての学習は不可欠です。そこで、仕事の内容にあった研修を身近

で受けられるよう、日本栄養士会、都道府県栄養士会が連携し合って、さまざまな研修会等を開催しています。



▲研修会

管理栄養士・栄養士のスキルアップのために

